

## 文理探究科 2 年国際探究冬季研修

### 1) E.J. King Middle High School 訪問

12月6日(金)、文理探究科2年国際探究23名が、佐世保米軍基地内の E.J.キングミドルハイスクールを訪問し、交流学習を行いました。交流したのは中2から高2に渡る日本語クラスの生徒さん達で、趣味や好み合う人たちとペアリングするため、“Find someone who…”で交流会がスタートしました。基本的にキングスクールの生徒は日本語、北陽台生は英語を用いて交流する予定でしたが、現地生徒たちの日本語がとても流暢で、日本語同士でも話が発展している様子でした。その後、“Kahoot!”では、前半は「北陽台クイズ(日本語)」、後半は「キングスクールクイズ(英語)」で、お互い使用言語を切り替えながら協力してクイズに取り組み、また、トピックに対して「賛成・反対」に分かれて互いに意見を述べ合う”Philosophical Chair”では多いに盛り上がりました。最後にキャンパス・ツアーで生徒たちはアメリカな雰囲気を堪能できました。生徒の感想文には、

- ・キングスクールの生徒たちは日本語が少し苦手でも大きな声でコミュニケーションを図ろうとしているし、またとても活発にディスカッションしていたことに刺激を受けた。
- ・初めて話す人にも積極的に話しかけた方がコミュニケーションも上手くいくし、いつも笑顔を意識しておくことが大切だと思った。
- ・今回、互いの文化を尊重することの大切さを学んだので、今後は積極的に海外の文化に触れて吸収し、広い視野で世界を見たいと思う。

などの記載があり、今回の交流からたくさんを学んだようです。交流を準備してくださった先生方、生徒の皆さん、本当にありがとうございました。



## 2)「ホテルブリスヴィラ波佐見」研修

同日午後には、「ホテルブリスヴィラ波佐見」を訪れ、取締役社長の船橋修一様からの経営者の視点を踏まえた講義を受けました。「価値がある組織とは何か?」「時間をどうとらえるか」といった講演内容に引き込まれ、皆真剣な眼差しで話に聞き入っていました。

生徒たちの感想文（抜粋）を紹介します。

- ・公共の授業などで企業がCSRを行っていると学んだのですが、様々な疑問がありました。今回のお話で「ビジネスとしての社会貢献」について知り、はじめて企業の社会貢献を現実的なものとして捉えることができました。
- ・「バックキャスト」の考え方や、対象によって物の価値が違うというお話など、どれも衝撃的で、でも実感を伴って頭に入ってきました。私も「労働」ではなく「仕事」ができるように日々考えて何事もこなすようにしたいと思います。
- ・事前にD&Iの考え方でホテル経営のプランを立てた際には分からないことも多かったけれど、ホテルの方のアドバイスや波佐見町の取り組みについて聞いて、知見を広げることができました。

最後に、6組の藺牟田優実さんが、「学校の授業を含め、あちこちで見聞きしてきたSDGsですが、今回の講義を拝聴して何を学んでいたのかスーッと腑に落ちる感じがしました」とお礼の言葉を述べました。

今回は、「考える」ということについて「考える」機会を与えていただき、本当にありがとうございました。とても貴重な体験になりました。

